

授業時間割表

授 業 内 容

令和 7 年度
(2025 年度)

群馬大学共同教育学部

教育基礎科目

新カリキュラム（１～２年生）用科目

科目区分	授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容
教育の理念	教育原論(一)	宇)上原	EB3000	ABC	必①	1	前前	月	1～2	1～	宇	我が国の教育を成り立たせている基本的な論理と、その歴史的な特徴について、基礎的な知識を与える。
	教育原論(二)	宇)和井内	EB3001	DEF	必①	1	前前	月	1～2	1～	宇	
	教育原論(三)	宇)上原	EB3002	GHI	必①	1	後前	月	1～2	1～	宇	
	教育原論(四)	宇)和井内	EB3003	JKL	必①	1	後前	月	1～2	1～	宇	
教職の意義	教職論(一)	安藤	EB3004	JKL	必①	1	前前	月	1～2	1～	群	教職の意義や教員の役割等について考察する。
	教職論(二)	安藤	EB3005	GHI	必①	1	前後	月	1～2	1～	群	
	教職論(三)	安藤	EB3006	DEF	必①	1	後前	月	1～2	1～	群	
	教職論(四)	安藤	EB3007	ABC	必①	1	後後	月	1～2	1～	群	
教育の制度	教育の社会的背景と制度原理(一)	宇)小野瀬	EB3008	ABC	必①	1	前前	水	3～4	2～	宇	公教育制度の基本原理と役割、発達段階に応じた教育制度の歴史、構造、理念、現状、課題について基礎的な講義を行うとともに、現代社会の要請に現在の日本の教育がどのように応えようとしているのか、今後どのような教育が必要となっていくのかをともに考察する。
	教育の社会的背景と制度原理(二)	宇)小原	EB3009	DEF	必①	1	前後	水	3～4	2～	宇	
	教育の社会的背景と制度原理(三)	宇)小原	EB3010	GHI	必①	1	後前	水	3～4	2～	宇	
	教育の社会的背景と制度原理(四)	宇)小野瀬	EB3011	JKL	必①	1	後後	水	3～4	2～	宇	
	教育の制度と社会(一)	村上	EB3012	DEF	必①	1	前前	水	3～4	2～	群	教育を取り巻く社会的・制度的・経営的な事項を、理論やデータ、事例をもとに理解する。特に本授業では、教育行政や教育法規、学校内外の連携、危機管理、現代の教育問題、外国における教育などについて扱う。
	教育の制度と社会(二)	新藤	EB3013	ABC	必①	1	前後	水	3～4	2～	群	
	教育の制度と社会(三)	新藤	EB3014	JKL	必①	1	後前	水	3～4	2～	群	
	教育の制度と社会(四)	村上	EB3015	GHI	必①	1	後後	水	3～4	2～	群	
心身の発達	心身の発達と学習過程(一)	宇)宮代・大島	EB3016	GHI	必①	1	前前	木	1～2	1～	宇	児童・生徒の学習や発達に資する教育心理学の基礎的な知識や捉え方について講義する。具体的内容としては、学習理論と教授－学習方法、発達理論、測定と評価などについて触れる。
	心身の発達と学習過程(二)	宇)宮代・大島	EB3017	JKL	必①	1	前後	木	1～2	1～	宇	
	心身の発達と学習過程(三)	宇)宮代・大島	EB3018	ABC	必①	1	後前	木	1～2	1～	宇	
	心身の発達と学習過程(四)	宇)宮代・大島	EB3019	DEF	必①	1	後後	木	1～2	1～	宇	
	発達と教育の心理学(一)	大島・佐藤(浩)	EB3020	GHI	必①	1	前前	水	3～4	2～	群	幼児期から青年前期を中心とした発達を概観するとともに、学習・教授・評価などの教育心理学の諸問題を論じる。
	発達と教育の心理学(二)	大島・佐藤(浩)	EB3021	JKL	必①	1	前後	水	3～4	2～	群	
	発達と教育の心理学(三)	大島・山口	EB3022	ABC	必①	1	後前	水	3～4	2～	群	
	発達と教育の心理学(四)	大島・山口	EB3023	DEF	必①	1	後後	水	3～4	2～	群	
特別支援	特別支援教育基礎論(一)	宇)斎藤・中村	EB3024	GHI	必①	1	前前	月	1～2	1～	宇	学習障害やAD/HD等を含めて、障害のある児童生徒に対する特別支援教育は、全ての教員が知っていなければならない事項である。障害の特性および個々の教育的ニーズなどを整理しながら、現代の特別支援教育の基礎的な事項を概説する。
	特別支援教育基礎論(二)	宇)斎藤・中村	EB3025	JKL	必①	1	前後	月	1～2	1～	宇	
	特別支援教育基礎論(三)	宇)斎藤・中村	EB3026	ABC	必①	1	後前	月	1～2	1～	宇	
	特別支援教育基礎論(四)	宇)斎藤・中村	EB3027	DEF	必①	1	後後	月	1～2	1～	宇	
	特別支援教育の実践と事例研究(一)	阿尾	EB3028	JKL	必①	1	前前	木	1～2	1～	群	特別支援教の基礎的な理解を基に、特別支援学校や特別支援学級、通級指導教室、通常学級などで教育を受ける児童・生徒たちへの実践事例を紹介し、特別なニーズを有する児童・生徒に対する教師としての働きかけの在り方についての理解を深める。
	特別支援教育の実践と事例研究(二)	阿尾	EB3029	GHI	必①	1	前後	木	1～2	1～	群	
	特別支援教育の実践と事例研究(三)	阿尾	EB3030	DEF	必①	1	後前	木	1～2	1～	群	
	特別支援教育の実践と事例研究(四)	阿尾	EB3031	ABC	必①	1	後後	木	1～2	1～	群	
教育課程	カリキュラム開発とマネジメント(一)	山崎(雄)	EB3032	GHI	必①	1	前前	木	3-4	2～	群	道徳科の特質や基本的な授業構造、指導方法等について、授業映像等を基に講義する。また、各学年段階で活用する教材を紹介し、小学校及び中学校における道徳科の授業づくりを行う。
	カリキュラム開発とマネジメント(二)	山崎(雄)	EB3033	JKL	必①	1	前後	木	3-4	2～	群	
	カリキュラム開発とマネジメント(三)	山崎(雄)	EB3034	ABC	必①	1	後前	木	3-4	2～	群	
	カリキュラム開発とマネジメント(四)	山崎(雄)	EB3035	DEF	必①	1	後後	木	3-4	2～	群	

教育基礎科目

新カリキュラム（１～２年生）用科目

科目区分	授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容
道徳教育	道徳教育授業論(一)	宇)上原	EB3036	ABC	必①	1	前後	月	1～2	1～	宇	道徳科の特質や基本的な授業構造、指導方法等について、授業映像等を基に講義する。また、各学年段階で活用する教材を紹介し、小学校及び中学校における道徳科の授業づくりを行う。
	道徳教育授業論(二)	宇)和井内	EB3037	DEF	必①	1	前後	月	1～2	1～	宇	
	道徳教育授業論(三)	宇)上原	EB3038	GHI	必①	1	後後	月	1～2	1～	宇	
	道徳教育授業論(四)	宇)和井内	EB3039	JKL	必①	1	後後	月	1～2	1～	宇	
道徳教育	道徳教育論：歴史・理論・実践(一)	久保	EB3040	JKL	必①	1	前前	木	3～4	2～	群	道徳とはどのようなものかという根源から説き起こし、価値判断のぶつかり合いの連続である現実をどのように生き抜いていったらよいか、またそれを次の世代の子どもたちにどう伝えていったらよいかを体感しながら考える。
	道徳教育論：歴史・理論・実践(二)	久保	EB3041	GHI	必①	1	前後	木	3～4	2～	群	
	道徳教育論：歴史・理論・実践(三)	久保	EB3042	DEF	必①	1	後前	木	3～4	2～	群	
	道徳教育論：歴史・理論・実践(四)	久保	EB3043	ABC	必①	1	後後	木	3～4	2～	群	
特別活動	特別活動論(一)	吉田(浩)・宇)丸山	EB3044	JKL	必①	1	前前	水	3～4	2～	群	学習指導要領に基づき、学級・ホームルーム活動、児童・生徒会活動、学校行事等の理論と実践について取り上げる。
	特別活動論(二)	吉田(浩)・宇)丸山	EB3045	GHI	必①	1	前後	水	3～4	2～	群	
	特別活動論(三)	吉田(浩)・宇)丸山	EB3046	DEF	必①	1	後前	水	3～4	2～	群	
	特別活動論(四)	吉田(浩)・宇)丸山	EB3047	ABC	必①	1	後後	水	3～4	2～	群	
教育の方法	教育とICT活用(一)	鈴木・紺谷	EB3048	DEF	必①	1	前前	木	1～2	1～	群	学校教育における情報通信機器の環境整備、活用方法、意義等について学ぶ。
	教育とICT活用(二)	鈴木・紺谷	EB3049	ABC	必①	1	前後	木	1～2	1～	群	
	教育とICT活用(三)	鈴木・紺谷	EB3050	JKL	必①	1	後前	木	1～2	1～	群	
	教育とICT活用(四)	鈴木・紺谷	EB3051	GHI	必①	1	後後	木	1～2	1～	群	
生徒指導	生徒指導・進路指導(一)	宇)久保田・紺谷	EB3052	ABC	必①	1	前前	木	3～4	2～	宇	学校は知識を身に付けさせるだけの場所ではない。健全な社会人格上の成長を促すこともまた、学校の重要な役割である。そして、その重要な役割を担うのが生徒指導である。生徒指導を行うにあたり、教師は多様な個性をもった児童・生徒と対峙し、それを尊重し伸ばしていく必要がある。その際には、他の教職員や関係機関と連携して、組織的な対応をとることも求められる。そこで、本講義では、生徒指導の核となる考え方を理解した上で、学校で生じている諸課題を学び、それらに必要な知識を理解し、実践上の指針を形成することを目的とする。
	生徒指導・進路指導(二)	宇)久保田・紺谷	EB3053	DEF	必①	1	前後	木	3～4	2～	宇	
	生徒指導・進路指導(三)	宇)久保田・紺谷	EB3054	GHI	必①	1	後前	木	3～4	2～	宇	
	生徒指導・進路指導(四)	宇)久保田・紺谷	EB3055	JKL	必①	1	後後	木	3～4	2～	宇	
教育相談	教育相談の理論と方法(一)	宇)川原・安藤	EB3056	DEF	必①	1	前前	木	3～4	2～	宇	事例を通して、生徒指導・進路指導・キャリア教育に関する実践的な理論と方法を学ぶ。
	教育相談の理論と方法(二)	宇)川原・安藤	EB3057	ABC	必①	1	前後	木	3～4	2～	宇	
	教育相談の理論と方法(三)	宇)川原・安藤	EB3058	JKL	必①	1	後前	木	3～4	2～	宇	
	教育相談の理論と方法(四)	宇)川原・安藤	EB3059	GHI	必①	1	後後	木	3～4	2～	宇	
	教育カウンセリングの実践と事例研究(一)	岩瀧[非]	EB3060	ABC	必①	1	前前	木	1～2	1～	群	学校教育相談の理論を基盤とし、現在の学校現場が抱える教育相談的課題について、実践力を養う。
	教育カウンセリングの実践と事例研究(二)	岩瀧[非]	EB3061	DEF	必①	1	前後	木	1～2	1～	群	
	教育カウンセリングの実践と事例研究(三)	岩瀧[非]	EB3062	GHI	必①	1	後前	木	1～2	1～	群	
	教育カウンセリングの実践と事例研究(四)	岩瀧[非]	EB3063	JKL	必①	1	後後	木	1～2	1～	群	

小学校教科・指導法

新カリキュラム（１～２年生）用科目

科目 区分	授業科目名	担当教員	時間割 コード	備考	履修 区分	単位	学期	曜日	時限	聴講 年次	開設 大学	授業内容
小 学 校 教 科	小学校国語（一）	小林(英)・小林(正) ・永由・宇)神田・宇)久保	EB3064	ACFIK		2	前	金	5～6	2～	宇	小学校の国語の授業で教える事項について学ぶ。
	小学校国語（二）		EB3065	EHL		2	後	金	3～4	2～	宇	
	小学校国語（三）		EB3066	BDGJ		2	後	金	5～6	2～	宇	
	小学校社会（一）	今井・斎藤[非]・ 宇)松村・宇)黒川	EB3067	ACFIK		2	前	金	1～2	2～	群	小学校社会科の基礎となる考え方を学ぶ。
	小学校社会（二）	青山・宇)小原・ 今井・宇)小井沼	EB3068	EHL		2	前	金	3～4	2～	群	
	小学校社会（三）	関戸・宇)小原・ 宇)高山・小谷	EB3069	BDGJ		2	後	金	1～2	2～	群	
	算数（一）	大下・宇)川上・石井・宇)牧野	EB3070	BDGJ		2	前	金	5～6	2～	宇	数学概論
	算数（二）	宇)川上・石井・宇)日野・照屋	EB3071	ACFIK		2	後	金	3～4	2～	宇	
	算数（三）	大下・宇)牧野・宇)日野・照屋	EB3072	EHL		2	後	金	5～6	2～	宇	
	小学校理科（一）	岸岡	EB3073	BDGJ		2	前	金	1～2	2～	群	理科各分野の概論
	小学校理科（二）		EB3074	ACFIK		2	前	金	3～4	2～	群	
	小学校理科（三）		EB3075	EHL		2	後	金	1～2	2～	群	
	小学校家庭（一）	宇)佐々木・町田・田中	EB3076	EHL		2	前	金	1～2	2～	宇	家庭科についての基礎的理解
	小学校家庭（二）		EB3077	BDGJ		2	前	金	3～4	2～	宇	
	小学校家庭（三）		EB3078	ACFIK		2	後	金	1～2	2～	宇	
	小学校英語（一）	金田・渡部・田中（一）・三 原・山内・津久井・山田・ 宇)天沼・宇)五十嵐・宇) 岩崎	EB3079	EHL		2	前	金	5～6	2～	群	外国語活動ならびに外国語科における諸領域について、その基礎知識をオムニバス形式で学び、英語教育実践のための指導力を養う。また、より効果的な授業展開のための英語運用能力を身に付ける。
	小学校英語（二）	町井[非]	EB3080	BDGJ		2	後	金	3～4	2～	群	
	小学校英語（三）		EB3081	ACFIK		2	後	金	5～6	2～	群	
	生活（一）	町井[非]	EB3082	国数技 美		1	前	火	3～4	2～	-	生活科の意義、目的、内容について考察する。
	生活（二）		EB3083	社英家 特		1	後	月	5～6	2～	-	
	生活（三）		EB3084	理音体 教心		1	後	月	7～8	2～	-	
	小学校音楽A（一）	吉田(秀)	EB3085	GKL		1	前	月	1～2	2～	-	基礎的な声楽、器楽の演習及び音楽通論
	小学校音楽A（二）	伊東	EB3086	CDE		1	前	火	1～2	2～	-	
	小学校音楽A（三）	菅生	EB3087	HIJ		1	前	水	1～2	2～	-	
	小学校音楽A（四）	山崎(法)	EB3088	ABF		1	前	木	1～2	2～	-	
	図画工作（一）	多胡[非]	EB3089	CD		1	前	月	1～2	2～	-	造形領域の演習
	図画工作（二）	林	EB3090	KL		1	前	火	1～2	2～	-	
	図画工作（三）	市川	EB3091	GH		1	前	火	1～2	2～	-	
	図画工作（四）	喜多村	EB3092	AB		1	前	水	1～2	2～	-	
	図画工作（五）	郡司	EB3093	EF		1	前	水	1～2	2～	-	
	図画工作（六）	齋江	EB3094	IJ		1	前	木	1～2	2～	-	
	小学校体育（一）	中雄・田井・島・小山・ 新井	EB3095	AEI		1	前	月	1～2	2～	-	小学校体育教材の実習と指導法
	小学校体育（二）		EB3096	BFJ		1	前	火	1～2	2～	-	
	小学校体育（三）		EB3097	CGK		1	前	水	1～2	2～	-	
	小学校体育（四）		EB3098	DHL		1	前	木	1～2	2～	-	

小学校教科・指導法

新カリキュラム（１～２年生）用科目

科目 区分	授業科目名	担当教員	時間割 コード	備考	履修 区分	単位	学期	曜日	時限	聴講 年次	開設 大学	授業内容
小学校 指導法	初等国語科指導法（一）	濱田・河内・永由	EB3099	国数美 特		2	後前	月	1～2	2～	-	小学校国語科教育の理論と方法
	初等国語科指導法（二）		EB3100	英理音 教教心		2	後後	月	1～2	2～	-	
	初等国語科指導法（三）		EB3101	社技家 保		2	後後	火	3～4	2～	-	
	初等理科指導法（一）	半田[非]・栗原	EB3102	社技家 保		2	後前	月	1～2	2～	-	小学校理科教育の総論と各論
	初等理科指導法（二）	半田[非]・栗原	EB3103	国数美 特		2	後後	月	1～2	2～	-	
	初等理科指導法（三）	栗原	EB3104	英理音 教教心		2	後後	火	3～4	2～	-	
	初等家庭科指導法（一）	鎌野・中里	EB3105	英理音 教教心		2	後前	月	1～2	2～	-	小学校家庭科教育の目的、内容、方法、授業設計
	初等家庭科指導法（二）	鎌野・中里	EB3106	社技家 保		2	後後	月	1～2	2～	-	
	初等家庭科指導法（三）	鎌野・中里	EB3107	国数美 特		2	後後	火	3～4	2～	-	
	初等体育科指導法 I	木山・鬼澤・新井・宇）石塚・宇）石井	EB3108	全員		2	後後	木	1～2	2～	宇	小学校体育科教育の総論（指導法の実習を含む）

国語分野

新カリキュラム（１～２年生）用科目

科目区分		授業科目名	担当教員	時間割 コード	備考	履修 区分	単位	学期	曜日	時限	聴講 年次	開設 大学	授業内容
中学校教科「国語」 に係る科目	国語学	日本語学概説 A	小林(英)	EB3110		必②	2	後	水	1～2	1～	群	指示詞、音声など、話し言葉に関する様々なトピックを取り上げ、解説していく。
		日本語学概説 B	宇)高山・小林(正)	EB3111		必②	2	前	木	7～8	1～	宇	日本語学の諸分野について、基礎的な事項を講義し、教員としての関わり方を考察する。
		文章表現	宇)高井・宇)高山・小林(正)	EB3112		必②	2	前	木	5～6	1～	宇	文章表現を行うために必要な作文技術を、講義及び演習を通して修得する。
		日本語学講読 A	小林(英)	EB3113		必②	2	前	木	5～6	2～	-	日本語の文法について理解を深め、日本語の仕組みを自分自身で分析できるようになることを目的とする。
		日本語学講読 B	小林(正)	EB3114		必②	2	後	木	5～6	2～	-	日本語の諸分野の歴史的変遷
	国語文学	日本文学概説 A	宇)鈴木	EB3115		必②	2	後	木	5～6	1～	宇	近現代の日本文学に関する理解を深める。
		日本文学概説 B	藤本[非]	EB3116		必②	2	前	金	7～8	1～	群	日本の古典文学
		日本文学講読 A	権田[非]	EB3117			2	前	集	-	2～	-	近現代の日本文学に関する理解を深める。
		日本文学講読 C	藤本[非]	EB3118			2	前	金	9～10	2～	-	日本の古典文学の流れを概観する。
	漢文学	漢文学概説	鈴木[非]	EB3119		必②	2	前	火	7～8	2～	-	中国文学、思想、東洋史等の学習の基礎となるべき漢文訓読法を習得する。更に、中国の散文、韻文の成立・展開を理解し、また我が国の漢文学の展開をも理解する。
	書道	書写法	永由	EB3120		必②	2	後	木	9～10	1～	群	硬筆・毛筆双方の技能を習得する。日中の名跡を臨書することで、書道史についても理解し、文字文化の伝承に対する関心を深める。
中学校指導法	中等国語科指導法 A	濱田	EB3121		必②	2	後	金	7～8	2～	-	「主体的・対話的で深い学び」の視点について理解を深め、中等教育段階での国語科授業における学びのデザインについて具体的に考える。学習指導要領における学力観にかかわる議論について検討し、今日的な授業観・学習指導観について理解を深める。	
	中等国語科指導法 B	濱田	EB3122		必②	2	前	火	7～8	2～	-	国語科の授業における「主体的・対話的で深い学び」の実現について理解を深め、実際に授業を 実践する力を身につける。	
	中等国語科指導法 C	河内	EB3123		必②	2	後	火	5～6	2～	-	中学校及び高等学校の学習指導要領における「国語」の目標や内容を理解した上で、教材研究に関わる基礎的な知識を修得する。また、授業場面における生徒の言語行動を具体的に想定しながら教材分析を行い、教材開発や学習指導案の構想等、授業設計に必要な基礎技能を修得する。	
分野目専門	国語分野	漢文学演習	鈴木[非]	EB3124			2	前	火	5～6	2～	-	「漢文学概説」を踏まえ、漢詩文の読解力の向上を目指す。また、演習を通じ、国語科の授業における漢文学の有りようについても考究する。
		書写演習 A	永由	EB3125			2	前	木	7～8	2～	-	「書写法」を履修した上で、さらに国語科書写への理解を深める。国語教育講座として、国語専攻2年生全員の履修を推奨する。

社会分野

新カリキュラム（１～２年生）用科目

科目区分	授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容
中学校教科「社会」に係る科目	日本史	日本史概説	藤森		必②	2	前	火	9～10	1～	－	日本の古代国家から、中世社会、近世の始まりまでを概観する。
	外国史	外国史概説A	宇)下田・今井		必②	2	前	金	9～10	1～	宇	8世紀にカール大帝が、ヨーロッパに統一王国をつくったが、その後分裂し、ヨーロッパにおいては、中国や中東などと異なり、統一国家が成立することはなかった。なぜなのか。この問いを解くために、ヨーロッパ史を「棲み分け」という概念を使って講義する。
		外国史概説B	今井		必②	2	後	金	1～2	1～	群	近世および近代の中国史を中心とする東アジア史を扱う。・同時代の日本のあゆみを意識すること、・中国と日本の社会構造の異同を念頭におくこと、・義務教育段階で学習することになる日本史関係の内容を外国史（東アジア史）の視点からさらに掘り下げる、の3つを意識し、日中関係史および中国史を政治、経済、文化など多角的視点から理解することを目指す。
	地理学	人文地理学概論	関戸		必②	2	後	火	5～6	1～	－	地域調査の手法について学ぶとともに、地域に関わる事象を理解し、地理的な見方・考え方を働かせて、地理的な課題について考える。中学校社会科・地理的分野における地域調査の手法と地域の在り方の授業を行うために、必要な技法と知識を修得するとともに、農業と食糧を題材として、系統地理的なアプローチによって課題を考察する。
		自然地理学概論	青山		必②	2	後	金	5～6	1～	群	地形、気候、植生など多様な構成要素からなる自然環境と人びとのくらしとの関係について、身近な地域から海外諸地域の具体的事例に即しながら、地形図などの資料も活用しつつ理解を深めていく。地形の成り立ちを知り、地形と自然災害との間には密接な関係性があることを、過去の自然災害発生事例を取り扱いつつ確認していく。地理的な見方を通した土地の履歴を理解することが、地域における防災や減災にも有効であることを確認し、防災教育のあり方などについても考えていく。
	地誌	地誌学概論	関戸		必②	2	前	火	5～6	2～	－	日本と世界の様々な地域について、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、地理的な課題について考察する。地誌学習のあり方を検討するとともに、日本と世界の様々な地域について、自然環境・人口・都市と農村・産業・文化など、それぞれ中核となるテーマを設定して地域的特色を考察し、地理的認識を深める。
	法律学・政治学	法学概論	斎藤[非]		必②	2	後	水	1～2	1～	－	個が尊重される社会をどう構築するかという課題を見据えつつ、法とは何か、ルールは守るべきか、憲法・民法・刑法それぞれの役割、自由と平等、統治機構、権力分立と人権・民主主義、地方自治、国連の目的・しくみ・役割、国際人権法と日本の人権状況といった法学上の基本問題を検討する。
	社会学・経済学	社会学概論	宇)小原・関戸		必②	2	前	木	5～6	1～	宇	身の回りの世界が、いかに社会全体の影響を受け、また影響を与えているか、社会学的な観点から分析することによって、社会的な考え方を身につける。より具体的には、社会学の主要な二つの見方、すなわち方法論的個人主義（要素還元論）と方法論的全体主義（システム論）それぞれの観点から、いじめという社会現象がどのように分析できるか紹介する上で、二つの見方になじんでもらった上で、現代や過去の様々な社会現象をとりあげ、ともに分析していく。
	哲学・倫理学・宗教学・心理学	哲学概論	宇)小井沼・今井		必②	2	後	木	5～6	1～	宇	この授業では古代から現代までの主要な西洋哲学者を取り上げ、その思想のもっとも重要なエッセンスを学びます。また、哲学的な思考法をみずから実践し、体得するために、フッサールという哲学者が考案した「本質観照」という方法を応用したグループワークを行う機会ももちます。授業目標は以下の3点です。 (1) 西洋哲学における主要な学説に関する知識を習得し、適切に説明することができる。 (2) 今日の常識的な世界像や自分の習慣的な考え方をいったん取り払い、物事をできるかぎり根本から問い直し、考え、表現することができる。 (3) 哲学的思考法を体得し、自分自身や人間一般の生のあり様をよりよく理解するうえでの技法として活用することができる。
		倫理学概論	小谷		必②	2	前	木	9～10	1～	群	基礎的な倫理学的思考法の涵養と、倫理学史の理解を主目的とし、それらを現代社会および学校現場における諸問題に応用していく。講義では倫理学者の基本的な議論の紹介に加え、現代的なトピックを取り上げ、グループワークを通じて倫理学的思考法を習得していく。その際、関連論文やニュース記事をその都度参考資料として用いることで、多角的・多面的に物事の価値を吟味する能力を養っていく。
	中学校指導法	中等社会科指導法A	粟谷		必②	2	前	木	7～8	2～	－	中学校社会科・高校地理歴史科総論及び歴史教育論
		中等社会科指導法B	宮崎		必②	2	前	火	3～4	2～	－	中学校社会科・高校地理歴史科総論及び地理教育論
		中等社会科指導法C	[非]		必②	2	後	金	9～10	2～	－	中学校社会科・高校地理歴史科総論及び公民教育論

社会分野

新カリキュラム（１～２年生）用科目

科目区分	授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容
分野専門科目	社会分野	日本史特講	中村[非]・藤森・深澤[非]・築瀬[非]	EB3143		2	後	金	7～8	1～	-	主に前近代の日本史における様々なテーマについて、概説より深く考究する。
		日本史講読	築瀬[非]・藤森	EB3144		2	前	月	7～8	2～	-	日本史に関する史料を講読する。主に中世史料を扱う。
		外国史特講	今井	EB3145		2	前	火	9～10	2～	-	20世紀中国のあゆみをとくに日本との関係に留意しながら学ぶ。
		外国史講読	今井	EB3146		2	後	木	5～6	2～	-	主に近現代の中国史や日中関係史に関する歴史資料を読む。
		人文地理学特講	関戸	EB3147		2	前	木	5～6	2～	-	さまざまな時間と空間における歴史的景観を考察し、地域の歴史的背景をふまえて、過去から現在にいたる地域変容を捉える。歴史地理学の多様な研究テーマと具体的な事例を検討しながら手法について学び、歴史的景観の特色を理解して、地域に関する地理的認識を深める。
		自然地理学特講	青山	EB3148		2	前	月	5～6	2～	-	さまざまな地図を用いながら、地域の自然環境成り立ち、災害リスクなどについて、具体的事例に即して学んでいく。群馬県とその周辺地域の事例を多めに取り扱う。
		地理学実習	関戸・青山	EB3149		1	前	火	9～10	2～	-	地理的事象に関する調査方法と資料・統計の分析手法を習得する。（フィールドワークを含む）
		地理学野外調査実習	関戸・青山	EB3150		1	後	集	-	2～	-	3泊4日の日程でフィールドワークを行い、調査報告を作成する。（地理学で卒論を書こうとする者は、2年次より受講することが望ましい）
		法学特講A	斎藤[非]	EB3151		2	前	金	7～8	2～	-	子どもの権利とそれを支える社会のあり方を、教育を軸に考える。具体的には、子どもの権利条約の考え方、校則・制服、子どもへの暴力、少年犯罪と少年法、現代日本の教育政策を取り上げる。
		法学特講B	斎藤[非]	EB3152		2	後	金	7～8	2～	-	日本の戦後政治史を踏まえて現代の課題を考える。戦争と平和をめぐる論点（日本国憲法制定、戦争責任と戦後責任、日米安保体制）と新自由主義政策（軍事、労働・社会保障、地方自治）等を取り上げる。
		社会学特講	坂本[非]	EB3153		2	後	金	3～4	1～	-	社会学は、異なる価値観を持った人が多数集まって形成されるこの社会を解き明かす学問である。そのためテーマは多岐にわたるが、特に結婚、家族、ジェンダー、労働、貧困をめぐる現代日本の現状と課題について社会学的視点からアプローチする。多様性を理解し、自分とは異なった環境にいる人への想像力を備え、論理的に思考する能力の獲得をめざす。
		経済学概論	今井	EB3154		2	前	集	-	2～	-	アジア経済史、開発経済学、現代東アジア経済論を中心に経済学の考え方を学ぶ。
		哲学特講	小谷	EB3155		2	後	木	7～8	2～	-	映像資料を取り上げながら、テキスト分析の方法を学ぶ。
		倫理学特講	小谷	EB3156		2	前	火	5～6	2～	-	フランクフルト学派などドイツの社会理論・社会倫理学を中心に、現代社会の価値観・倫理感を分析する。
		社会科地域調査実習	宮崎・粟谷	EB3157		1	前	集	-	2～	-	地域と社会科教育の関係についてフィールドワークを行い、調査報告を作成する。
		地理学演習	関戸・青山	EB3158		2	前	木	9～10	2～	-	学術論文の紹介と卒論の中間報告を行う。
		地理学演習	関戸・青山	EB3159		2	後	火	7～8	2～	-	学術論文の紹介と卒論の中間報告を行う。（地理学で卒論を書こうとする者は、2年次より受講することが望ましい。部分的に集中で開講する。3年も履修可）

英語分野

新カリキュラム（１～２年生）用科目

科目区分		授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容
中学校教科「英語」に係る科目	英語学	英語学入門	山田	EB3160		必②	2	前	木	9～10	1～	群	現代言語学・英語学の基本的な考え方、英語の音声の仕組み（音声学、音韻論）、英文法（形態論/語形成論、統語論、意味論、語用論）、英語の歴史の変遷（英語史）、国際共通語としての英語（社会言語学）、ことばの獲得と学習（第一言語獲得論、第二言語習得・学習論）の基礎概念を概観し、ことばの様々な側面に対する理解を深め、将来授業を行う際に役立つ知識・技能を修得することである。
		英語学演習 A	橋本[非]	EB3161		必②	1	前	金	7～8	2～	－	英語の調音音声学（分節音と韻律）を学ぶ。
		英語学演習 B	山田	EB3162		必②	1	前	木	7～8	2～	－	英語科教員養成の観点から、教材研究開発の基礎となる専門力を身につけるため、英語の言語学的研究の目的や方法、成果などを概観し、具体的な言語現象についての基本的な知見を理解し、基礎的な観察・分析力を身につけるための演習を行なう。到達目標は、具体的な英文や音声資料等の英語表現の事例について、文法や英語の音声の仕組みなどに関する言語学的な観点からの基本的な分析ができ、教材理解や教材研究等への応用ができることである。
	英語文学	英語文学入門 A	金田・宇)五十嵐	EB3163		必②	2	前	木	5～6	1～	群	古英語の時代から現代までのイギリス文学の流れを概観しながら、代表的な散文、詩、劇を取り上げて、それぞれの特質や歴史的な位置づけを考える。
		英語文学入門 B	金田	EB3164		必②	2	前	木	7～8	1～	群	さまざまな時代や種類のテキストを取り上げ、諸々の事象を考察しながら、文学批評の方法を学ぶ。
		英語文学演習 A	金田	EB3165		必②	1	後	木	7～8	2～	－	イギリスやアメリカの短編を精読し、様々な表現方法や形式に触れながら、テキストを読むという行為について議論をしながら考察する。
		英語文学演習 B	金田	EB3166		必②	1	後	火	9～10	2～	－	イギリス文学をナラティブ構造や修辞法などに注目しながら考察、検討することで、さまざまなテキストを批評的に読む能力を養う。
	英語コミュニケーション	オーラルコミュニケーション演習 I	山内	EB3167		必②	1	前	火	5～6	2～	－	This course focuses on developing fluency, accuracy, and natural communication skills in English. Through extensive listening, discussions, role-plays, and structured presentations, students will enhance their ability to respond spontaneously and logically in conversations. Emphasis is placed on critical thinking, pronunciation, and confident expression in both academic and real-world contexts.
		オーラルコミュニケーション演習 II	山内	EB3168		必②	1	後	火	5～6	2～	－	This is a continuation of Oral Communication I. This course further develops students' ability to communicate clearly and persuasively in English. Activities include debates, case studies, and problem-solving discussions to improve spontaneity, adaptability, and logical reasoning. By the end of the course, students will engage in meaningful real-time conversations with confidence.
		英作文 I	山内	EB3169		必②	1	前	火	7～8	1～	－	The goal of this course is to develop logical writing structure, critical thinking, and clear expression. Through academic essays, listening activities, and peer reviews, students will strengthen their logical reasoning and writing organization skills, enhancing their practical writing abilities.
		英作文 II	山内	EB3170		必②	1	後	火	7～8	1～	－	This is a continuation of Academic Writing I. This course focuses on writing practice, further developing skills in analyzing complex topics, constructing arguments, and producing high-precision writing. Emphasis is placed on research-based writing and academic discussions, enhancing students' ability to create clear and persuasive texts.
	異文化理解	異文化理解と言語教育	渡部	EB3171			1	前	火	9～10	1～	－	異文化コミュニケーションに関わる理論を学び、英語科教材に描かれている「異文化」について捉え、英語による表現力への理解を深める。またバイリンガリズムや英語教育と日本語教育の視点から、英語教育がいかに日本における多文化共生に資することができるかを考える。
		言語文化論 I	田中(一)	EB3172			1	後	木	7～8	1～	－	言語学の基礎を学びながら、言語の構造と機能を理解することを通して、言語と文化に対する認識を深める。
		言語と世界	三原	EB3173			1	後	火	5～6	1～	－	諸外国と日本の文化や歴史、思想等についての相違を考察し、異文化コミュニケーションの課題等を言語化することを学ぶ。授業回ごとにテーマを設置し、教員が講義を行うが、受講者自身も随時、調査・発表・小レポート作成等を行う。
	中学校指導法	中等英語科指導法 A	津久井	EB3174		必②	2	前	月	7～8	2～	－	中等英語科教育の理論と実践を学ぶ。
		中等英語科指導法 B	津久井	EB3175		必②	2	後	月	9～10	2～	－	
		中等英語科指導法 C	宇)田村・津久井	EB3176		必②	2	前	木	5～6	2～	宇	
		中等英語科指導法 D	津久井	EB3177		必②	2	後	月	7～8	2～	－	
分野専門科目	英語分野	英語文学特殊講義 A	金田	EB3178			2	前	金	7～8	2～	－	英語演劇とミュージカルを用いて、英語力を養いながら、身体活動を伴った英語教育の効果を考察する。
		英語文学特殊講義 B	金田	EB3179			2	前	火	7～8	2～	－	イギリス演劇の抜粋を精読しながら、英語表現の多様性に触れる。
		英語科指導法特殊講義 A	渡部	EB3180			2	後	集	－	2～	－	英語科指導法について、理論・実践の両面から理解を深める。具体的な事例を取り上げるケーススタディを行い、教室で起こる様々な事象に対応できるような実践的能力を養う。
		英語学特別演習 A	橋本[非]	EB3181			1	後	集	－	2～	－	音声分析ソフトウェアを用いて、音響分析の方法を学ぶ。

数学分野

新カリキュラム（1～2年生）用科目

科目分野		授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容
中学校教科「数学」に係る科目	代数学	代数学概論	大下	EB3190		必②	2	後	金	9～10	1～	群	学校教育における算数・数学の基礎である「整数」について学ぶ。
		代数学基礎Ⅰ	宇)鈴木・大下・石井	EB3191		必②	2	前	金	5～6	1～	宇	行列に関する基本事項（演算、基本変形、行列式等）について、演習を交えながら講義する。
		代数学基礎Ⅱ	石井	EB3192			2	後	木	5～6	1～	－	線型空間と線型写像に関する基本事項（基底、表現行列、固有値、固有ベクトル、対角化可能性等）について、演習を交えながら講義する。
	幾何学	幾何学概論	石井	EB3193		必②	2	前	金	9～10	1～	群	集合の基本的性質を整理したあと、数学でも用いられる論理を学ぶ。さらに、無限集合の濃度の概念について解説する。
		幾何学基礎Ⅰ	伊藤[非]・照屋	EB3194		必②	2	前	木	5～6	2～	－	距離の概念、位相の概念を導入することにより、収束、極限、連続に関する基盤を身に付ける。
		幾何学基礎Ⅱ	矢口[非]・照屋	EB3195			2	後	火	5～6	2～	－	初等幾何に対する線形代数学的手法を学ぶ。その上で、ユークリッド合同変換群の基本的性質への理解を得る。
	解析学	解析学概論	宇)安達・照屋	EB3196		必②	2	前	火	3～4	1～	宇	この授業では、主に微分法についての講義と演習を通し、極限や微分の計算力を養い、解析学の基礎を身につける。
		解析学基礎Ⅰ	高江洲	EB3197		必②	2	後	水	1～2	1～	群	積分法における区分求積法に基づく定積分を学び、広義積分を導入する。また二変数関数における偏微分法とその応用を学ぶ。
		解析学基礎Ⅱ	照屋	EB3198			2	前	火	5～6	2～	－	重積分、級数
学「中」に校係る科目目数	確率論・統計学	統計学	宇)川上・照屋	EB3199		必②	2	後	木	7～8	2～	宇	統計学入門
	コンピュータ	情報基礎	遠山[非]・照屋	EB3200		必②	2	前	金	7～8	2～	－	情報処理の基礎知識を学び、数学の基本的事柄を通してプログラミング技術を習得する。
	中学校指導法	中等数学科指導法 A	澤田	EB3201		必②	2	前	月	7～8	2～	－	中等数学科教育の理論と方法
		中等数学科指導法 B	澤田	EB3202		必②	2	後	月	7～8	2～	－	
分野専門科目	数学分野	代数学Ⅰ	石井	EB3203			2	前	火	7～8	2～	－	群論の基礎
		解析学Ⅰ	照屋	EB3204			2	後	月	3～4	2～	－	正則関数、複素積分
		環論	大下	EB3205			2	後	火	7～8	2～	－	環の基礎
		数学基礎演習	大下・照屋・石井・高江洲	EB3206			2	後	金	7～8	1～		数学専攻1年次に学ぶ代数学、幾何学、解析学に関する演習を行う。

理科分野

新カリキュラム（１～２年生）用科目

科目区分		授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容
中学校教科「理科」に係る科目	物理学	基礎の物理学	宇)夏目	EB3210		必②	2	後	水	1～2	1～	宇	物体に働く力やそれによる運動を講義と演習をとおして学ぶ。
		物理学	寺嶋	EB3211		必②	2	後	木	5～6	2～	群	電気と磁気的基本的な性質や身近な応用について学ぶ。
	化学	基礎の化学	宇)南	EB3212		必②	2	前	金	5～6	1～	宇	化学分野の基礎となる、原子分子及び結晶の構造、熱力学、酸塩基、酸化還元といった内容を、身近な物質・現象と結び付けて学ぶ。
		化学	日置・岸岡	EB3213		必②	2	後	金	1～2	1～	群	基礎の化学の授業を踏まえ、中学校、高等学校の単元や実生活における化学の関わりを意識しながら無機化学、分析化学、有機化学、高分子化学に関する各論について基本的事項を概説する。
	生物学	基礎の生物学	佐野・佐藤(綾)・宇)井口	EB3214		必②	2	前	木	5～6	1～	群	細胞学、生化学、分子生物学、遺伝学、進化学、分類学、生態学の基礎
	地学	基礎の地学	宇)瀧本	EB3215		必②	2	後	木	5～6	1～	宇	幅広く地球惑星科学の基礎を学ぶ。
		地学	岩崎・佐々木	EB3216		必②	2	後	金	9～10	2～	群	中学理科の地学分野で扱う基本的な現象の実態を知り、それらの現象が起きる過程と機構を学ぶことで、地学分野の内容の理解を深める。
	物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験	基礎物理学実験	寺嶋	EB3217		必②	1	後	金	5～7	1～	-	基礎的な物理学実験。(重力加速度、ダイオードと抵抗、熱の仕事当量など)
		基礎化学実験	日置・岸岡	EB3218		必②	1	後	木	7～9	1～	-	基礎的な化学実験。(中和滴定、化学反応の速度など)
		基礎生物学実験	佐藤(綾)・佐野	EB3219		必②	1	前	木	7～9	1～	-	基礎的な生物学実験。(身近な動物の観察と同定、植物体のつくりの観察など)
		基礎地学実験	岩崎・佐々木	EB3220		必②	1	前	金	7～9	1～	-	基礎的な地学実験。(岩石の観察、気象観測など)
	中学校指導法	中等理科指導法 A	益田	EB3221		必②	2	前	火	3～4	2～	-	中等理科教育の総論と各論
		中等理科指導法 B	栗原	EB3222		必②	2	前	月	3～4	2～	-	中等理科教育の総論と各論
		中等理科指導法 C	益田	EB3223		必②	2	後	火	5～6	2～	-	中等理科教育の総論と各論
		中等理科指導法 D	益田	EB3224		必②	2	後	火	7～8	2～	-	中等理科教育の総論と各論
分野専門科目	理科分野	物理学特論 B	寺嶋	EB3225			2	前	火	9～10	2～	-	光的基本的な性質や伝わり方について学ぶ。
		化学特論 B	日置	EB3226			2	前	木	5～6	2～	-	化学反応の基本的なメカニズムを習得する。化学を履修していることが望ましい。
		化学特論 C	岸岡	EB3227			2	前	月	9～10	2～	-	無機化合物、元素について解説する。
		生物学特論 B	佐野	EB3228			2	後	月	3～4	2～	-	植物の環境応答について分子生物学的な解析の成果も含めて概説する。
		生物学特論 C	佐藤(綾)	EB3229			2	通	集	-	2～	-	動物の生態学、行動学、進化学
		地学特論 B	岩崎	EB3230			2	前	月	7～8	2～	-	地質と気象・地球物理の分野についての発展的な内容を扱う。
		地学特論 C	佐々木	EB3231			2	通	集	-	2～	-	地質分野(固体地球科学・地球生命科学)について学ぶ
		理科教育実験 C	寺嶋	EB3232			1	前	金	7～9	2～	-	基礎的な物理学実験。(GM計数管、固体の比熱、光の干渉など)
		理科教育実験 D	日置・岸岡	EB3233			1	前	木	7～9	2～	-	基礎的な無機化学・有機化学・物理化学実験。
		理科教育実験 E	佐野・佐藤(綾)	EB3234			1	前	火	5～7	2～	-	基礎的な生物学実験。
		理科教育実験 F	岩崎・佐々木	EB3235			1	後	木	7～9	2～	-	地学分野(地質・気象・地球物理)の実験とデータ解析を行う。

技術分野

新カリキュラム（１～２年生）用科目

科目区分		授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容
中学校教科「技術」に係る科目	材料加工	材料加工学基礎	小熊	EB3240		必②	2	後	金	7～8	1～	群	技術科及び工業科の指導に必要な木材及び木質材料の性質、木材の加工に関する理論
		材料加工学基礎演習	小熊	EB3241		必②	1	前	金	5～6	1～	-	技術科及び工業科の指導に必要な木工手工具・電気工具の調整、使用法及び板材の加工法演習
		材料加工学応用	関口[非]	EB3242		必②	2	前	木	7～8	2～	群	技術科及び工業科の指導に必要な金属及び金属材料の性質、金属の加工に関する理論
		材料加工学応用演習	関口[非]	EB3243		必②	1	前	月	9～10	2～	-	技術科及び工業科の指導に必要な金属及び金属材料の性質、金属の加工に関する理論
	機械・電気	機械工学	片柳	EB3244		必②	2	後	金	7～8	2～	-	機械工学に関する講義
		電気工学	宇)松原・片柳	EB3245		必②	2	前	木	5～6	2～	宇	電気に関する講義
		電気工学演習	片柳	EB3246		必②	1	後	火	7～10	2～	-	電気に関する演習（実習を含む）
	生物育成	生物育成学	武井[非]	EB3247		必②	2	前	木	5～6	1～	-	野菜の発達生理と栽培技術
		生物育成学演習	武井[非]	EB3248		必②	1	前	木	7～8	1～	-	野菜、草花などの栽培を中心とした演習
	情報とコンピュータ	情報工学	宇)川島	EB3249		必②	2	後	木	7～8	2～	宇	情報に関する講義
		情報工学演習	古田	EB3250		必②	1	前	月	7～8	2～	-	中学校・技術の教員になるうえで必要なプログラミングおよびハードウェアの基礎的知識・技能の実習。
		プログラミング基礎	古田	EB3258		必②	1	前	月	5～6	2～	-	中学校技術・家庭（技術分野）の「情報に関する技術」の学習指導を行うための基礎となる知識・技能を習得。□
	中学校指導法	中等技術科指導法A	宇)石島	EB3251		必②	2	後	木	5～6	1～	宇	技術教育の歴史、社会背景、学習指導要領の変遷
		中等技術科指導法B	小熊	EB3252		必②	2	前	金	7～8	2～	群	現行指導要領で示される技術科の4つの指導内容に関する講義
		中等技術科指導法C	古田・小熊・片柳	EB3253		必②	2	後	金	9～10	2～	-	材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報の技術に関する具体的な指導に関する講義
分野専門科目	技術分野	製図	片柳	EB3254			1	後	月	7～8	2～	-	製図の基礎
		工業材料	未定	EB3255			1	後	火	5～6	1～	-	工業材料（金属、セラミックス、高分子、複合材料）の性質と用途
		工業数理	片柳	EB3256			1	前	金	9～10	2～	-	関数の極限、連続、微分、積分とそれらの工学における活用
		論理的思考と情報教育	古田	EB3257			1	後	月	9～10	2～	-	問題解決という視点から、論理的思考と情報教育との関わりについて概説する。

音楽分野

新カリキュラム（１～２年生）用科目

科目区分		授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容
中学校教科「音楽」に係る科目	ソルフェージュ	ソルフェージュ	西田	EB3270		必②	1	前	金	7～8	1～	-	リズムや視唱の実践
	声楽	声楽 A	山崎	EB3271		必②	2	前	金	5～6	1～	-	合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む基礎的な声楽演習
		声楽 B	山崎	EB3272		必②	2	後	金	1～2	1～	-	基礎的な声楽演習
		日本の伝統的な歌唱	鮎沢[非]	EB3273		必②	2	後	集	-	1～	-	長唄三味線を中心とした日本の伝統的な歌唱演習
	器楽	器楽 A	伊東・菅生	EB3274		必②	2	前	火	3～4	1～	-	ピアノの伴奏法および和楽器演習の基礎的な実技演習
		器楽 B	菅生	EB3275		必②	2	後	火	9～10	1～	-	学校音楽で必要な基礎的・基本的な器楽の知識・技能の習得。リコーダー、撥弦楽器、和楽器等の器楽実習。
		合奏 I	菅生	EB3276		必②	1	前	火	9～10	1～	-	吹奏楽などの様々な形態のアンサンブル合奏の講義・演習を通して、合奏に関する基礎知識、基本的な演奏技術や指導法を学ぶ。
	器楽	合奏Ⅱ	菅生	EB3277		必②	2	前	火	9～10	2～	-	管弦打楽器の基礎的な演習（大編成合奏）
		指揮法	菅生	EB3278		必②	2	後	火	5～6	2～	-	合奏及び合唱の指揮法
		作曲法	西田	EB3279		必②	1	前	火	9～10	2～	-	吹奏楽などの様々な形態のアンサンブル合奏の講義・演習を通して、合奏に関する基礎知識、基本的な演奏技術や指導法を学ぶ。
音楽理論・作曲法・音楽史	音楽史	宇)木下	EB3280		必②	2	後	木	9～10	2～	宇	音楽史	
	音楽基礎実践	西田	EB3281		必②	2	後	金	7～8	1～	群	楽典を中心とした実践的な音楽理論	
中学校教科「音楽」に係る科目	中学校指導法	中等音楽科指導法 A	宇)小原	EB3282		必②	2	前	金	7～8	2～	宇	中学校音楽科・高等学校芸術科音楽の目標や内容等について、学習指導要領を中心とした教科理解、教材研究の方法や学習指導案などについて学びます。講義を中心に必要に応じて発表や演奏なども含めて行います。授業計画で示した項目を中心に関連する事項等を適宜参照しながら進めます。
		中等音楽科指導法 B	伊東	EB3283		必②	2	後	火	9～10	2～	群	中学校における音楽科教育に必要な基礎的な理念・知識・技術を学び、自ら声を出して歌う、楽器に触れる、音楽を聴く活動を通して指導方法を身につけていく。教科書のみならず幅広い分野での音楽の教材研究を行いながら、将来教育現場で通用する実践力を身につける事を目指す。
分野専門科目	音楽分野	ソルフェージュ応用	西田	EB3284			1	後	金	5～6	1～	-	高度なリズムや視唱の実践
		和声法Ⅰ	西田	EB3285			1	前	木	5～6	1～	-	属 7 までの和声法
		和声法Ⅱ	西田	EB3286			1	後	木	5～6	1～	-	ドッペルドミナントまでの和声法
		管弦打楽器演習(一)	菅生	EB3287			1	前	木	5～6	1～	-	管弦打楽器の基礎的な実技演習
		管弦打楽器演習(二)	菅生	EB3288			1	前	木	9～10	1～	-	
		管弦打楽器演習(三)	菅生	EB3289			1	後	木	5～6	1～	-	
		管弦打楽器演習(四)	菅生	EB3290			1	前	集	-	1～	-	オーケストラ活動を通した管弦打楽器の演習
		管弦打楽器演習(五)	菅生	EB3291			1	後	集	-	1～	-	
		ピアノ演習(一)	伊東	EB3292			1	前	火	7～8	1～	-	ピアノの基礎的な実技演習
		ピアノ演習(二)	伊東	EB3293			1	前	水	3～4	1～	-	
		ピアノ演習(三)	伊東	EB3294			1	前	木	9～10	1～	-	
		ピアノ演習(四)	伊東	EB3295			1	後	火	7～8	1～	-	ピアノ演奏に必要な技術の習得
		ピアノ演習(五)	伊東	EB3296			1	後	水	3～4	1～	-	
		ピアノ演習(六)	伊東	EB3297			1	後	金	3～4	1～	-	
		合唱(一)	山崎	EB3298			1	前	木	7～8	1～		広範囲の合唱演習
		合唱(二)	山崎	EB3299			1	後	木	7～8	1～	-	広範囲の合唱演習

音楽分野

新カリキュラム（１～２年生）用科目

科目区分		授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容
分野専門科目	音楽分野	室内楽(二)	菅生	EB3300			2	前	火	5～6	2～	-	アンサンブルによる基礎的な室内楽演習
		室内楽(二)	菅生	EB3301			2	後	集	-	2～	-	
		声楽演習(一)	山崎(法)	EB3302			2	前	火	3～4	2～	-	発声法及びイタリア・ドイツ・フランス・日本の歌曲、アリア
		声楽演習(二)	山崎(法)	EB3303			2	前	火	9～10	2～	-	
		声楽演習(三)	山崎(法)	EB3304			2	前	水	1～2	2～	-	
		声楽演習(四)	山崎(法)	EB3305			2	前	木	3～4	2～	-	
		声楽演習(五)	山崎(法)	EB3306			2	前	木	5～6	2～	-	
		声楽演習(六)	山崎(法)	EB3307			2	後	火	1～2	2～	-	
		声楽演習(七)	山崎(法)	EB3308			2	後	木	5～6	2～	-	
		声楽演習(八)	山崎(法)	EB3309			2	後	金	5～6	2～	-	
		声楽演習(九)	山崎(法)	EB3310			2	後	金	7～8	2～	-	
		音楽史概説	長井[非]	EB3311			2	前	集	-	2～	-	西洋音楽史、日本の伝統音楽及び諸民族の音楽について概説する。

美術分野

新カリキュラム（１～２年生）用科目

科目区分		授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容
中学校教科「美術」に係る科目	絵画	表現基礎〔絵画〕	喜多村・宇) 株田	EB3320		必②	2	前	金	9～10	1～	群	絵画分野の造形表現に関する基礎演習
		絵画 A	喜多村	EB3321		必②	1	前	木	5～7	2～	-	素描を中心とした絵画の制作実習（映像メディア表現を含む）
		絵画 B	喜多村	EB3322		必②	1	後	火	5～7	2～	-	水彩絵の具とアクリル絵の具を用いた絵画の制作実習（映像メディア表現を含む）
	彫刻	表現基礎〔彫刻〕	林	EB3323		必②	2	前	火	9～10	1～	群	彫刻分野の造形表現に関する基礎演習
		彫刻 A	林(耕)	EB3324		必②	1	前	月	7～9	2～	-	塑造を中心とした具象・抽象彫刻の制作実習
	デザイン	表現基礎〔デザイン〕	宇) 未定・齋江	EB3325		必②	2	後	金	9～10	1～	宇	デザイン分野の造形表現に関する基礎演習
		デザイン A	齋江	EB3326		必②	1	前	火	5～7	2～	-	グラフィック・デザインを中心とするデザイン基礎造形の発展的な実習
		デザイン B	齋江	EB3327		必②	1	後	木	5～7	2～	-	主にプロダクトおよび空間デザイン関連作品の制作実習
	工芸	表現基礎〔工芸〕	宇) 松島・林	EB3328		必②	2	後	木	5～6	1～	宇	工芸分野の造形表現に関する基礎演習
		工芸 A	平岩[非]	EB3329		必②	1	通	集	-	1～	-	陶芸分野の制作実習
		工芸 B	三上[非]	EB3330		必②	1	後	月	7～9	2～	-	染織工芸分野の制作実習
	美術理論・美術史	美術理論	市川・宇) 本田	EB3331		必②	2	後	木	9～10	2～	群	美学や芸術学など美術理論の基本的な考え方に関する講義
		美術史	宇) 本田・市川	EB3332		必②	2	前	木	9～10	2～	宇	古代から現代にかけての西洋美術の流れについて、鑑賞教育と関連付けた講義
		美術実地調査演習	市川	EB3333		必②	2	通	集	-	2～	-	美術に関する調査活動を行う実地演習
分野専門科目	美術分野	中等美術科指導法 A	茂木[非]	EB3334		必②	2	前	集	-	2～	-	中学校美術科におけるカリキュラム論、教材論、授業方法等に関する講義
		絵画特別研究	喜多村	EB3335			1	前	集	-	2～	-	モデルを用いた素描の制作及び制作論を含む演習
		彫刻 C	林(耕)	EB3336			1	後	火	8～10	2～	-	モデルを用いた頭像・胸像などの彫刻の制作実習
		彫刻 D	林(耕)	EB3337			1	前	集	-	2～	-	モデルを用いた全身像・トルソなどの彫刻の制作実習
		日本美術史概論	市川	EB3338			2	後	水	1～2	1～	-	先史・古代から現代までの日本美術の流れについて、鑑賞教育と関連付けた講義

保健体育分野

新カリキュラム（1～2年生）用科目

科目区分		授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容
中学校教科「保健体育」に係る科目	体育実技	陸上競技	中雄	EB3370		必②	1	前	金	7～8	1～	-	陸上競技の様々な種目の特性及び指導法を学ぶとともに、自らの技能の向上を図り、指導力を身につける。
		ダンス	木山	EB3371		必②	1	前	木	7～8	1～	-	ダンスの特性や基礎的基本的技能について学ぶとともに、中学校を中心とする指導法について講義、実技をまじえ習得を目指す。
		武道 A	島	EB3372		必②	1	前	火	7～8	2～	-	柔道実技一般並びに指導法の基本を体験的に学習する。特に指導法は、中学校での授業に必要な理論と実技を題材に学習する。
		器械運動	新井	EB3373		必②	1	前	金	1～2	1～	-	器械運動の技術および指導法について学習を行う。また、技能の向上および指導法の実習を行う。
		球技 A	岡出[非]・鬼澤	EB3374		必②	1	通	集	-	2～	-	ボールゲームの学習内容には、ボール操作の技能やボールをもたないときの動きに加えて、戦術に関する知識や知識を活用した状況判断がある。これらの学習内容を内包した効果的なゲーム教材を用いてゲームパフォーマンスの向上を図るとともに、指導法についても学ぶ。
	体育原理・体育心理学・体育経営管理学・体育社会学・体育史・運動学	体育・スポーツ心理学	宇)松浦・島	EB3375		必②	2	前	金	7～8	2～	宇	身体運動が心身にどのような影響を与えるのか、体育・スポーツ心理学の観点から、人間の身体と心の関係について理解を深める。また、運動の心理的効果やスポーツ実践場面特有の心理現象について理解し、体育・スポーツの実施および指導に役立てる方法を考える。
		運動学	中雄	EB3376		必②	2	後	火	1～2	1～	-	運動学の基本的な知識を学ぶとともに、運動の必要性や効果について、理解を深める。
	生理学	生理学	島	EB3377		必②	2	前	木	9～10	2～	群	運動に伴う身体の生理学的な変化についての基礎知識を学び、運動の必要性や効果について、理解を深める。
	衛生学・公衆衛生学	衛生学及び公衆衛生学	宇)久保・新井	EB3378		必②	2	後	木	5～6	2～	宇	人々の疾病の予防や健康の保持増進のための原理を扱う衛生学、集団としての人間の健康の保持増進を図るための環境や社会のあり方を扱う公衆衛生学について講義する。
	学校保健	学校保健 I	新井	EB3379		必②	2	後	金	7～8	2～	群	学校保健の基本的な視点についての講義を行い、教育現場における保健活動の役割について考察する。（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）
	中学校指導法	中等保健体育科指導法 A	鬼澤	EB3380		必②	2	前	月	7～8	2～	-	中学校保健体育科体育分野のカリキュラム論、指導論及び教材づくり論を取り上げ、基礎的な理解を深める。また、体育授業の映像視聴を通して優れた体育授業についてイメージを深めるとともに、マイクロティーチングを通して体育指導を経験する。
		中等保健体育科指導法 C	木山・鬼澤	EB3381		必②	2	後	木	7～8	2～	-	中学校保健体育科体育分野の目標および学習内容に応じた授業づくり、学習指導、評価について、模擬授業の実施を通して理論的・実践的に理解を深め、教科指導力を育成する。
分野専門科目	保健体育分野	運動方法論	小山	EB3382			2	後	木	5～6	1～	-	体育授業・スポーツ指導を通じた身体技能や知識の形成について学習し、各種スポーツ競技の特性を踏まえた効果的な指導方法及びトレーニング方法について理解を深める。
		解剖生理学	島	EB3383			2	後	木	7～8	1～	-	身体運動を学習するための基礎となる解剖学、生理学の知識を身につける。
		球技 G	樹森[非]	EB3384			1	後	集	-	2～	-	サッカーの技術特性をふまえ、体づくり、体ほぐしの運動の趣旨を踏まえた学習指導の在り方について学習する。
		野外実習 A	中雄・木山・田井・島	EB3385			1	後	集	-	1～	-	野外における、様々な自然体験を行う上での基礎的知識と技能を身に付ける。
		野外実習 B	木山・中雄・田井・小山	EB3386			1	後	集	-	2～	-	様々な野外活動全般の基本的技能並びに指導法を身に付ける。

家政分野

新カリキュラム（１～２年生）用科目

科目区分		授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容
中学校教科「家庭」に係る科目	家庭経営学	家庭経営論	宇)渡辺	EB3350		必②	2	後	水	1～2	1～	宇	家庭科教育の背景学問である家政学や家庭経営学について考察する。また、家庭科の教育内容としての家庭経営に焦点をあて、社会の変化とのかかわりで家庭生活の変遷をたどり、家庭経営における現代生活の課題を検討する。
		生活環境論	鎌野	EB3351		必②	2	後	木	9～10	2～	群	快適な生活環境を考える上で必要な論点を衣食住といった視点から整理し、それらがもつ基本的な問題や諸課題について基礎的な考え方を講義する。
	被服学	衣生活論	宇)佐々木	EB3352		必②	2	前	木	5～6	2～	宇	環境要素としての被服と人体の生理衛生について学ぶ。
		被服構成実習Ⅰ	中里	EB3353		必②	1	後	木	9～10	1～	-	被服製作に関する実習
		被服素材論	武本[非]	EB3354			2	後	集	-	2～	-	被服材料としての繊維、糸、布の構造とその性質について学ぶ。
	食物学	食生活論	町田	EB3355		必②	2	後	金	9～10	1～	群	栄養学・食品学を含む食生活に関する広範な内容を学ぶ。
		調理実習Ⅰ	町田	EB3356		必②	1	後	金	5～7	1～	-	調理の基礎知識・技術を習得する。調理実習の進め方を学ぶ。
		栄養学	町田	EB3357			2	前	月	9～10	2～	-	エネルギー・栄養素および栄養管理の基礎知識を学ぶ。
	住居学	住生活論	田中(麻)	EB3358		必②	2	前	金	5～6	1～	群	住居領域の内容の基本となる、日本の住まいについて基本的な知識を習得する
		住環境論	田中(麻)	EB3359			2	後	集	-	1～	-	住居と地域社会との関わりについて様々な視点から学ぶ。
	保育学	保育学	宇)良	EB3360		必②	2	後	金	7～8	2～	宇	胎生期・乳幼児期・児童期の心身の発達の特徴と、発達課題について概説する。また、「保育」「児童」「親性」「保育環境」概念と、それらに関する現代的課題について検討する。
	中学校指導法	中等家庭科指導法A	鎌野	EB3361		必②	2	後	月	9～10	2～	-	中等家庭科のカリキュラム論及び教材論
		中等家庭科指導法B	中里	EB3362		必②	2	前	火	9～10	2～	-	中等家庭科教育の理論と授業研究
		中等家庭科指導法D	中里	EB3363		必②	2	後	木	7～8	2～	-	中等家庭科教育の各論と授業設計
分野専門科	家政分野	家族関係論	鎌野	EB3364			2	後	木	5～6	2～	-	客観的データに依拠しながら日本の家族関係の特質を明らかにする。
		食物科学	町田	EB3365			2	前	月	7～8	2～	-	食品学、食品衛生学、調理科学に関する基礎知識を学ぶ。
		看護学	中西[非]	EB3366			2	前	集	-	2～	-	1.看護概念(1)人間の身体発育と機能(結婚、妊娠、分娩、産褥、更年期) 2.一般的看護技術(体温、脈拍、呼吸測定法、電法、与薬、排泄、食事)

特別支援教育分野

新カリキュラム（１～２年生）用科目

科目区分		授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容
特別支援学校免許に関する科目	基礎理論	特別支援教育総論	木村	EB3400		必②	2	前	金	5～6	1～	-	特別支援教育教員養成課程の基本となる講義である。障害について、その種類・程度の理解だけでなく、障害の意味するところの社会的・文化的・歴史的変遷を理解したうえで、障害種別によらない教育的ニーズに基づく教育とは何か等を概説する。
	知的(心理)	知的障害児の心理・生理・病理	吉野	EB3401		必②	2	前	月	9～10	1～	-	知的障害児の心理的特性、解剖・生理について学ぶ。さらに、幼児期から思春期にかけての子どもの成長について学習し、知的障害をきたす疾病についての理解を深める。
	知的(方法)	知的障害児教育課程・指導法	木村	EB3402		必②	2	後	木	5～6	1～	-	特別支援教育における教育課程の考え方と学習指導要領の記載内容について理解し、知的障害のある子どもの指導の考え方や教育課程の編成の方法について知る。
	肢体(心理)	肢体不自由児の心理・生理・病理	吉野	EB3403		必②	2	後	木	7～8	1～	-	肢体不自由が児童生徒に及ぼす心理的影響について学習し、肢体不自由をきたす疾病についての理解を深め、適切な肢体不自由児の支援を行うための基礎知識および肢体不自由教育の特色・教育内容について学ぶ。
	肢体(方法)	肢体不自由児教育課程・指導法	阿尾	EB3404		必②	2	前	金	7～8	2～	群	肢体不自由教育の現状と課題を講義したうえで、肢体不自由児の起因疾患、学習特性、教育内容、教育方法などについて講義する。
	病弱(心理)	病弱児の心理・生理・病理	吉野	EB3405		必②	2	前	月	7～8	2～	-	病弱児の生理・病理・心理について概観するとともに、疾病の理解と支援の実際について講義を行う。
	病弱(方法)	病弱児教育課程・指導法	宇)斎藤・中村	EB3406		必②	2	後	金	7～8	2～	宇	病弱児の指導法を中心に、状態像の理解の仕方や授業のなかでの配慮について述べるとともに、教育課程に関する知識も交えながら総合的な講義を行う。
	知的(心理)	知的障害児心理学特論	霜田	EB3407			2	前	火	5～6	2～	-	知的障害児の認知発達、言語発達、社会性の発達などの心理発達と支援について解説する。
	知的(方法)	知的障害教育特論	木村	EB3408			2	後	火	5～6	2～	-	知的障害のある子どもの卒業後の社会参加を意識しながら、講義及びグループワークの活動等を通して知的障害児の指導と学級経営について理解を深める。
	知的(心理・方法)	障害児自立活動論	阿尾	EB3409			2	前	火	7～8	2～	-	自立活動の意味や当該の要素を踏まえた指導の在り方について解説する。
	領域以外(心理・方法)	発達障害教育概論	霜田	EB3410		必②	2	後	火	5～6	1～	-	発達障害児における診断基準ならびに認知・行動特性への理解とともに障害特性に基づく支援方法を理解する。
	視覚(心理・方法)	視覚障害教育概論	宇)福田・中村	EB3411		必②	1	前	金	9～10	2～	宇	視覚障害児教育のあり方について、心理・生理・病理学的理解、指導法、教育課程など総合的な内容の講義を行う。
	聴覚(心理・方法)	聴覚障害教育概論	金澤	EB3412		必②	1	後	金	9～10	1～	群	聴覚障害児教育のあり方について、心理・生理・病理的な理解、言語獲得、教育課程・指導法などの概説を行う。
	視覚(方法)	視覚障害児教育課程・指導法	宇)福田	EB3413		必②	2	後	木	9～10	2～	宇	視覚障害のある児童・生徒について、全盲および弱視などの状態像に応じた指導法を中心に、教育課程に関する知識も踏まえながら総合的に講義を行う。
	聴覚(心理)	聴覚障害児の心理・生理・病理	吉野	EB3414		必②	2	前	木	7～8	2～	群	聴覚障害の心理・生理・解剖・検査法及び疾患の病理の理解に基づき、子どもの適切な理解を学ぶ。
		聴覚障害児の心理特論	中野・金澤	EB3415		必②	2	後	木	7～8	2～	群	聴覚障害児及びろう重複障害児の心理とその支援について概説する。
聴覚(方法)	聴覚障害児教育課程・指導法	木村	EB3416		必②	2	前	木	5～6	2～	群	聴覚障害のある子どもたちに対してどのような教育目的からどのような教育の場でどのような教育方法がとられてきたのか、現在、聾学校のみならず、難聴学級、通級による指導、通常の学級、知的障害特別支援学校等の様々な教育の場においてどのような教育が行われているのかを理解する。	

教育分野

新カリキュラム（1～2年生）用科目

※1 「教育心理分野」に同一名の科目があります。必ず所属する専攻の科目を履修登録し、単位を修得してください。

科目区分		授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容
教育展開科目	分野専門科目	教育研究原論	山崎(雄)・新藤・鈴木	EB3420		必②	2	後	金	9～10	1～	群	「教育」という現象を研究するにあたり、どのようなアプローチがあるのかを、関連諸学の成果や方法論をふまえ、初学者向けに講ずる。
		現代学校教育論演習	宇)長谷川	EB3421		必②	2	後	木	9～10	2～	宇	学校教育の現代的な課題（例、不登校、日本型学力、学校から社会への移行問題、など）を理解し、教育実践を通して課題を解決する方法を考えることができるようになってもらうことを目的としている。
		教育哲学	宇)上原	EB3422			2	前	木	5～6	2～	宇	今日の教育に関する諸概念を哲学的に吟味するために、過去のエデュケーションに関する基礎的な知識を修得する。
		教育調査法	新藤	EB3423			2	後	水	1～2	2～	群	社会調査の基礎的な方法について学んだ後、受講者の関心に基づいて調査を企画し、実査・分析・報告書の作成という一連の流れを経験する。
		教育社会学特講	新藤	EB3424			2	前	金	5～6	2～	群	現代のエデュケーションに関する教育社会学の知見を学ぶことで、教育社会学的な視座の獲得につなげる。
		授業と生徒指導の国際比較	山崎(雄)	EB3425			2	前	月	3～4	2～	群	学校教育にかかわる諸外国の映画・ドキュメンタリー等を通じ、日本との共通点・相違点等について考察する。群大・宇大別日程。宇大は後期・集中
		学校教育原論 ※教育分野科目	田村・川野	EB3430	※1参照	必②	2	前	木	5～6	1～	-	学校教育をめぐる諸課題（教科指導、生徒指導、教育相談、学校経営等）について、現場の状況を具体的に踏まえながら論じる。
		教育内容・方法学演習A	山崎(雄)	EB3453			2	前	月	5～6	2～	-	カリキュラム開発や授業の主体としての教師のあり方をめぐる文献を講読する。
		教育経営学演習	村上	EB3454			2	前	集中	-	2～	-	教育行政学、教育経営学、比較教育学に関する文献の検討を通じて、具体的教育問題・事例について検討を行う。講義日程は、受講生と相談の上決定。
		教育社会学演習	新藤	EB3431			2	前	月	5～6	2～	-	教育社会学の基本文献を読み進めることで、教育と社会の関わりについて自分なりに考える力を養う。
		授業と学習の心理学	鈴木	EB3432			2	前	月	9～10	2～	-	心理学とその隣接分野（認知科学、教育方法学、教育工学など）の実験や調査研究を中心とした文献購読を通じて、授業や学習を促進するためのメカニズムについて検討する。

教育心理分野		※2 幼稚園免許取得の場合は、「選択科目」の科目を履修登録してください。 ※3 「教育分野」に同一名の科目があります。必ず所属する専攻の科目を履修登録し、単位を修得してください。										新カリキュラム（1～2年生）用科目	
科目区分		授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容
分野専門科目（教育心理）	共通	心理教育統計学の基礎	音山	EB3433		必②	2	後	木	5～6	1～	群	心理教育統計法のうち、基礎統計領域（正規分布と相対的位置、回帰、母集団と標本、統計的検定と効果量の基本的考え方、検定は2要因分散分析、カイ2乗検定程度まで）を扱う。
		人格心理学	宇)川原	EB3434		必②	2	前	木	5～6	2～	宇	人格・性格（パーソナリティ）に関する内容を概説する。
	概論系	保育内容の指導法（人間関係） ※教育心理分野科目	大島	EB3435	※2参照		2	後	金	7～8	1～	－	領域「人間関係」の意義や内容について心理学的観点から学ぶ。
		学習心理学	佐藤(浩)	EB3436				前	金	5～6	1～	－	学習・記憶心理学の基礎を学ぶ。
		幼児理解の心理学 ※教育心理分野科目	大島	EB3437	※2参照		2	前	火	5～6	1～	－	乳幼児の心の発達について学ぶ。
		保育内容の指導法（言葉） ※教育心理分野科目	佐藤(浩)	EB3438	※2参照		2	前	月	7～8	1～	－	乳幼児期の言語発達について心理学の成果を中心に学ぶ。
		学校教育原論 ※教育心理分野科目	川野・田村	EB3439	※3参照	必②	2	前	木	5～6	1～	－	学校教育をめぐる諸課題（教科指導、生徒指導、教育相談、学校経営等）について、現場の状況を具体的に踏まえながら論じる。
		心理教育統計学	山口	EB3440			2	前	金	7～8	2～	－	多変量解析などの心理統計学を学ぶ
	研究スキル系	教育心理学実験A	音山・大島	EB3441			2	後	木	7～10	1～	－	心理学の観察法、各種検査等について学ぶ
		教育心理学実験B	佐藤(浩)・山口	EB3442			2	前	木	7～10	2～	－	心理学実験と質問紙調査法の基礎を学ぶ。
	特講系	心理教育的指導論	音山・坂西	EB3443			2	前	集	－	2～	－	心理教育的支援の方法、対児童生徒コミュニケーションのとり方等について、解決策の立案、実践までのプロセスを演習形式で体験する。
	演習	教育心理学研究セミナーⅠ（教育社会心理学）	音山	EB3445			2	前	集	－	2～	－	教育社会心理学の基礎文献講読。 ※同教員開講科目の重複履修(再履修)は不可
		教育心理学研究セミナーⅠ（発達心理学）	大島	EB3446			2	前	集	－	2～	－	発達心理学の基礎文献の購読等。
		教育心理学研究セミナーⅠ（教育心理学）	山口	EB3447			2	前	集	－	2～	－	教育心理学関係の基礎的文献を読む。卒論のための基礎的な知識を獲得する。特に四年生は卒論の準備を行う。※同教員開講科目の重複履修(再履修)は不可
		教育心理学研究セミナーⅠ（心理学研究法）	佐藤(浩)	EB3448			2	後	火	1～2	2～	－	研究例を教材に、心理学の研究手法や分析方法を学ぶ。
		教育心理学研究セミナーⅡ（学習心理学）	佐藤(浩)	EB3449			2	後	火	5～6	2～	－	学習心理学、認知心理学の研究例や、その教育への応用を学ぶ。
		教育心理学研究セミナーⅡ（社会心理学研究法）	音山	EB3450			2	後	集	－	2～	－	教育社会心理学の文献読解と論文執筆に必要な統計処理法の解説（帰無仮説検定～多変量解析）
		教育心理学研究セミナーⅡ（発達心理学）	大島	EB3451			2	後	集	－	2～	－	発達心理学に関する文献の講読を中心に、発達心理学の研究手法を学ぶ。
		教育心理学研究セミナーⅡ（教育心理学）	山口	EB3452			2	後	集	－	2～	－	教育心理学関係の応用的文献を読む。 ※同教員開講科目の重複履修(再履修)は不可

forefront科目			新カリキュラム（１～２年生）用科目									
科目区分	授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容
forefront 科目	日本語と日本語の違いを学ぶⅠ	中野・下島・金澤	EB3460			2	前	火	3-4	2～	-	手話サポーター養成プログラム手話通訳者養成コース。日本語-日本語の通訳トレーニングを通して、聴覚障害児者の教育・支援場面における日本語の理解・表現力を高める。「言語としての日本語ⅠⅡA/ⅠⅡB」を履修していること、もしくは履修相当の日本語スキルを有することを条件とする。
	日本語と日本語の違いを学ぶⅡ	中野・下島・金澤	EB3461			2	後	火	7-8	2～	-	手話サポーター養成プログラム手話通訳者養成コース。日本語-日本語の通訳トレーニングを通して、聴覚障害児者の教育・支援場面における日本語の理解・表現力を高める。受講にあたり、「日本語と日本語の違いを学ぶⅠ」を履修していることを条件とする。

総合教職科目													
科目区分	授業科目名		担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容表
総合教職科目	教職特別演習Ⅰ		片柳・小林(正・宇)・佐々木、牧野、瀧本	EB3470		必①	1	通	集	-	2～	群	宇大・群大の両大学の学生が専攻の枠を超えて互いに交流し、学び合う。
	教育現場体験学習		教育実習委員会	EB3471		必①	1	通	集	-	1～	-	公立小学校又は中学校に出向いて学校教育活動の一端に携わる体験をする。
	授業実践基礎学習		教育実習委員会	EB3472		必①	1	通	集	-	2～	-	附属学校で教育実習生が行う研究授業の参観と授業研究会への参加を通して、学習指導について学ぶ。(教育現場体験学習を修得済み、かつ授業実践基礎学習を履修する前年度末までに35単位以上修得している場合に履修可能)
	体験的科目	コミュニティ学習ワークショップ	郡司・市川	EB3473			1	通	集	-	2～	-	アートをテーマとした参加体験型学習としてのワークショップの理論と実践を体験的に学ぶ。
		スポーツ教室（体操教室）指導実践	新井	EB3474			1	通	集	-	2～	-	幼児・小学生・中学生との運動体験や運動指導の活動を通して、運動特性や運動感覚について理解したり、子どもの行動や考え方および気持ちについての理解を深める。また、器械運動の効果的な指導方法について考え、学習環境づくりについて学習を行う。(器械運動が苦手な人や、運動経験の少ない人でも参加可能です。各月2回程度、土曜日の午後1時から4時の3時間開催予定、各自の都合で参加する日を決めて、10回の参加で単位認定になる。)
		中学生学習サポート「地域寺子屋」	新井	EB3475			1	通	集	-	2～	-	前橋市教育委員会主催の事業で、前橋市内の公民館を会場に、夕方～夜間にかけて1時間半程度の学習支援活動を実施する。元教員とともに中学生の学習支援を行うことで、生徒の実態把握、学習環境づくりなど、生徒とかかわる実践的な力を育成する。(各会場の担当者と相談して参加する日時を決定する。)
		放課後児童クラブ活動ボランティア体験	新藤	EB3476			1	通	集	-	2～	-	放課後児童クラブでのボランティア体験を通じて、子ども理解を促し、子どもへの関わり方を身につけるとともに、放課後児童クラブの役割や意義、学校との連携のあり方について認識を深める。
		附属学校園での体験	教務委員会	EB3477			1	通	集	-	2～	-	幼稚園・小学校中学校・特別支援学校の子どものとの係わりを通して、発達の諸相を学ぶ。
		ボランティア体験（サークル活動を含む）	教務委員会	EB3478			1	通	集	-	2～	-	様々な子どもとの係わりを通して、人間理解を深める。
	クィア・スタディーズ		金田	EB3479			2	前	火	9～10	2～	-	LGBTQ+に関するさまざまな事象に焦点を当てながら、ジェンダーやセクシュアリティに纏わる言説を考察する。
ドイツ語とその文化		田中(一)	EB3480			2	前	木	7～8	2～	-	ドイツ語圏の文化について、基礎的なドイツ語を使って読み解いてゆく。同時に初級ドイツ語の復習も行う。原則として、教養教育外国語教養科目群のドイツ語の単位を取得していることが履修条件。	

日本語教育基礎プログラム科目群												
科目区分	授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容表
外国人児童生徒の日本語教育基礎プログラム	日本語教育教材分析	渡部	EB3490			2	前	集	-	2～	-	外国人児童生徒を対象とした日本語教育に関する基礎知識として、日本語教材を言語習得の観点から分析し、どのような言語活動がデザインできるかを学ぶ。
	日本語教育授業分析	牧原・大和	EB3491			2	通	集	-	2～	-	群馬大学の留学生を対象とした日本語科目を観察・分析し日本語の授業を担当するための基礎的な知識を身につけた後、地域の日本語教室を見学しボランティア教室での授業運営の在り方を理解し、現状を把握することを目指す。
	日本語教育実習	渡部・新藤	EB3492			1	通	集	-	2～	-	日本語教育実習を通して付加言語としての日本語の指導の仕方を学ぶ。

選択科目

新カリキュラム（１～２年生）用科目

科目区分		授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容表
社会教育主事関係	社会教育に関する科目	生涯学習支援論Ⅰ	片岡[非]	EB3507			2	前	金	9～10	2～	-	生涯学習支援に関わる基礎的な内容を扱う。
		生涯学習支援論Ⅱ	片岡[非]	EB3508			2	後	金	9～10	2～	-	生涯学習支援に関わる実践的な内容を扱う。
		生涯学習概論Ⅰ	齊藤[非]	EB3509			2	前	集	-	2～	-	生涯学習の基礎について概説する。
		生涯学習概論Ⅱ	後藤[非]	EB3510			2	後	火	7～8	2～	-	学生参加による実践と社会教育の現状の把握
		社会教育経営論Ⅰ	後藤[非]	EB3511			2	前	月	7～8	2～	-	社会教育計画の理論と実践
		社会教育経営論Ⅱ	後藤[非]	EB3512			2	後	月	3～4	2～	-	社会教育計画の理論と実践
		社会教育実践研究Ⅰ	後藤[非]	EB3513			2	前	火	5～6	2～	-	社会教育実践を検討する。
		社会教育実践研究Ⅱ	齊藤[非]	EB3514			2	後	集	-	2～	-	社会教育実践を検討する。（開講日時については後日掲示にて通知）
		社会教育実践研究Ⅲ	茂木(勇)[非]	EB3515			2	通	集	-	2～	-	社会教育施設業務の実務と実際。社会教育施設実習（夏期休暇を中心に１～２週間実施）
学芸員関係	博物館学	博物館概論	関[非]	EB3516			2	前	木	9～10	2～	-	博物館学の概論的内容（分類や機能、組織、資料、展示、教育普及など）について講義する。
		博物館資料論	築瀬[非]	EB3517			2	前	月	9～10	2～	-	博物館資料の取り扱いや調査・研究法などを学ぶ。
		博物館展示論	松田[非]	EB3518			2	後	集	-	2～	-	展示という行為の本質について考え、博物館活動における展示の実際について具体的に検討する。11月下旬から開講予定。
		博物館資料保存論	板垣[非]	EB3519			2	後	集	-	2～	-	博物館における資料保存の意義、保存方法、保存環境などについて解説する。（履修資格：「博物館概論」を修得済み、「博物館資料論」を修得済み又は履修中であること。）11月下旬もしくは12月上旬から金曜日1～4時限。
		博物館経営論	放送大学	EB3520			2	前	集	-	2～	-	放送大学との単位互換制度を利用します。 教務係へ受講の申込みが必要です。（別途授業料が必要） 6月下旬（後期開設分）・12月中旬（前期開設分）通知します。 履修希望者は受講申し込みを行ってください。
		博物館経営論	放送大学	EB3521			2	後	集	-	2～	-	
		博物館教育論	放送大学	EB3522			2	前	集	-	2～	-	
		博物館教育論	放送大学	EB3523			2	後	集	-	2～	-	
		博物館情報・メディア論	放送大学	EB3524			2	前	集	-	2～	-	
		博物館情報・メディア論	放送大学	EB3525			2	後	集	-	2～	-	
学校図書館関係	図書館情報学	図書館情報学B	小山[非]	EB3527	隔年開講		2	前	集	-	2～	-	学校図書館メディアの構成に関する理解及び実務能力の育成を図る。
		図書館情報学C	小日向[非]	EB3528			2	後	集	-	2～	-	学習指導における学校図書館メディア活用についての理解を図る。
		図書館情報学E	須藤[非]	EB3529			2	通	集	-	2～	-	学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る。

選択科目

※1 幼稚園免許取得希望者における必修科目です。

※2 「教育心理分野」に同一名の科目がありますが、必ず「選択科目」の科目を履修登録し、単位を修得してください。

新カリキュラム（1～2年生）用科目

科目区分		授業科目名	担当教員	時間割コード	備考	履修区分	単位	学期	曜日	時限	聴講年次	開設大学	授業内容表
幼稚園免許教諭関係	保育内容の指導法（幼稚園）	保育内容の指導法（人間関係）	大島	EB3530	※1・2参照		2	後	金	7～8	2～	-	領域「人間関係」の意義や内容について心理学的観点から学ぶ。 ※1 幼稚園教諭免許取得希望者は必修
		保育内容の指導法（健康）	永井[非]	EB3531			2	前	火	3～4	2～	-	幼稚園教育要領における領域「健康」についてその内容や意義について実践的に学ぶ。
		保育内容の指導法（環境）	安藤	EB3532			2	後	水	1～2	2～	-	環境を通して行う教育を基本とする幼児期の教育について、「環境」に視点を当て具体的・実践的に学ぶ。
		保育内容の指導法（言葉）	佐藤(浩)	EB3533	※1・2参照		2	前	月	7～8	2～	-	乳幼児期の言語発達について心理学の成果を中心に学ぶ。
		保育内容の指導法（表現）	吉田(秀)・郡司	EB3534			2	後	火	3～4	2～	-	幼児教育における表現領域の指導法に関する講義
	幼児理解の理論・教育相談	幼児理解の心理学	大島	EB3535	※1・2参照		2	前	火	5～6	2～	-	乳幼児の心の発達について学ぶ。
	領域に関する専門的事項（幼稚園）	幼児の健康・運動	中雄	EB3536			1	後後	金	5～6	1～	-	幼児期の発育発達の特徴や、それともなう運動能力の発展について学習する。
		幼児と人間関係	大島	EB3537			1	後前	金	5～6	1～	-	幼稚園教育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容を踏まえ、幼児期を中心に人間関係の特徴について主に発達心理学的な視点から学ぶ。特に社会性の発達に焦点を当て、「人と関わる力」を培う過程についてについての講義を行う。
		幼児と環境	安藤	EB3538			1	後後	火	9～10	1～	-	幼児にとつての環境の意味や環境を通して行う教育の意義等について考察する。
		幼児と言葉	河内	EB3539			1	後前	火	9～10	1～	-	幼稚園教育要領における領域「言葉」のねらい及び内容を理解し、幼児期の言葉の学問的背景と基礎的知識を学ぶ。
		音楽表現	吉田(秀)	EB3540			1	後後	水	3～4	2～	-	幼稚園教育要領における領域「表現」のねらい及び内容を理科し、幼児の音楽表現能力の育成に向けて備えておくべき保育者の知識や技能を学ぶ。
		造形表現	郡司	EB3541			1	後前	水	3～4	2～	-	領域「表現」における造形を中心とした活動の意義や内容に関する演習